社協 鵜二だより

第 17 号
1998（平成10年）3月31日
発行　各務原市社会福祉協議会
編集　鵜沼第二連合支部
編集委員会

社協鵜二連合支部

活動を着実に推進

課題は会員100％の達成

支部長　平松幹正

私たちの社協鵜二連合（川崎・三ツ池・各務原町）支部は、9年度もみなさんのお力添で、活動計画のすべてを達成し、会員募集も加入率83％で、市の平均を始めて上廻ることができました。

◇講演会と話し合い2回実施

講演会、テーマは恒例の「教育と福祉」と「21福祉のまちづくり」で、市養護学校長渡辺澄子先生、元大垣市社協の重鎮、清水吉次郎先生を、それぞれ講師にお招きして、延べ117人が参加、直後の座談会でしめくくりをしました。

◇支部福祉フェスタ「ひとり暮らしのお年寄を囲む会」

支部で最も人気があるこの催し、ひとり暮らしのお年寄、高齢世帯（70歳以上）のご夫婦を囲む会は、対象者41人と役員で食事と懇親を楽しみ、第一部では、大正琴、小中学生の福祉作文代表朗読と表彰、東高校生ブラスバンドの演奏、合計131人の参加者は今年も全員楽しそうでした。

◇介護講習会、友愛訪問、ふれあい映画などと、新規に近隣ケア研修も実施しました。

▶ナツメロも交えて大好評
各務原東高校の楽団演奏
支部福祉フェスティバル

社協鵜二連合支部では、9年度お蔭で会員が83％に達し、始めて、市内17支部の平均加入率82.5％を上廻りました。これは自治会長・班長、民生児童委員を始め社協役員のご努力の成果です。介護保険12年実施の展望の中で、社協の役割はますます重要になってきます。100％加入達成が大きな課題といえます。

〈平成9年度〉社協会員募集実績表　鵜沼第二連合支部

自治会名		自治会加入世帯数	一般会員数	一般会費額	特別会員数	会員数合計	会費額合計	全体加入率
川崎北		219	182	91,000	11	193	102,000	88.1
川崎南		140	120	60,000	8	128	68,000	91.4
川崎合計		**359**	**302**	**151,000**	**19**	**321**	**170,000**	**89.4**
三ツ池区	東第1	91	53	26,500	27	80	53,500	87.9
	東第2	117	60	30,000	18	78	48,000	66 7
	西第1	153	97	48,500	8	105	56,500	68.6
	西第2	125	102	51,000	10	112	61,000	89.6
	西第3	79	58	29,000	14	72	43,000	91.1
	西第4	85	68	34,100	7	75	41,100	88.2
	南第1	163	107	53,000	19	126	76,000	77.3
	南第2	103	71	35,500	18	89	53,500	86.4
	南第3	172	133	66,500	36	169	104,500	98.3
	南第4	125	105	52,500	19	124	72,500	99.2
	南第5	98	86	43,000	2	88	45,000	89.8
	合計	**1,311**	**940**	**469,600**	**178**	**1,118**	**654,600**	**85.3**
各務原区	1丁目	108	66	33,000	3	69	36,000	63.9
	パークホームズ	88	18	9,000	1	19	10,000	21.6
	2丁目西	170	129	64,500	7	136	71,500	80.0
	2丁目東	158	110	55,000	20	130	75,000	82.3
	2丁目南	77	59	29,500	3	62	32,500	80.5
	3丁目西	151	133	66,500	0	133	66,500	88.1
	3丁目東	115	91	45,500	5	96	50,500	83.5
	4丁目	215	157	78,500	0	157	78,500	73.0
	5丁目	172	143	71,500	14	157	86,500	91.3
	6丁目	73	74	37,000	0	74	37,000	101.4
	9丁目	131	113	56,500	15	128	73,500	97.7
	合計	**1,458**	**1,093**	**546,500**	**68**	**1,161**	**617,500**	**79.6**
日毛社宅		28	19	9,500	0	19	9,500	67.9
鵜二支部合計		**3,156**	**2,354**	**1,176,600**	**265**	**2,619**	**1,451,600**	**83.0**
各務原市合計		**38,935**	**28,668**	**14,334,600**	**3,456**	**32,124**	**17,866,400**	**82.5**

＊鵜二連合支部への9年度交付金　￥581,000（鵜二支部会費1,451,600×40％）
（自治会加入世帯数は平成9年7月1日現在）

社協鵜二連合支部

七つの学び舎
―教育と福祉の一コマ―

その2

私たち社協鵜二連合支部の区域内で9年度は、新しく子苑第二・合歓の木南幼稚園を迎え、鵜沼第二・中央小学校、中央中学校、そして各務原東高校の学び舎七つが、福祉協力・推進校・園としてさらに充実した活動を展開されていますが、教育と福祉の両面からも、子供さんを巻込んだ学校・園、家庭、地域の交流は時局の要請でもあります。

体験して助け合う心を

中央小では、毎年、〈障害を持ってらっしゃる方への理解を深め、いたわりの心を育てる〉をねらいに、福祉ふれあい体験を行っています。

今年度は、十一月にアイマスク体験（全校）と車イス体験（一～六年）を行いました。

◇中央小学校◇

グループ別にアイマスク体験

子ども達は実際に目が不自由な方がどんな思いで歩いていらっしゃるのかに気付くことができました。また、車イスに乗っている方にとって歩道のほんの少しの傾斜や段差がどんなに大変かを実感することができました。こんな体験の中から、助け合う心が育っていくと考えています。

車椅子を贈って（二月十六日）

「福祉に役立てて下さい。」

これは、鵜二小JRC委員会から社会福祉協議会への願いです。

昨年度に引き続き本年度も週二回火曜日・金曜日にアルミ缶回収を行ってきました。全校で集めてきたアルミ缶が体の不自由な方の役に立つということを理解することができ、福祉の精神を育てることができたらと車いすを贈りました。

またその他に、書き損じ葉書の回収や、募金活動なども行ってきました。これらの活動を通して、思いやり助け合いの心を育てています。

◇鵜沼第二小学校◇

みんなの力　社協へ車椅子寄贈

スキー研修　仲間や自然とのふれあい

本校では「奉仕・勤労・感動体験などを経験できる学校行事」の改善をすすめています。二年生では、少年自然の家で実施する宿泊研修で、仲間や自然と思いっきりふれあえるようにスキー研修を取り入れました。

好天に恵まれ、南アルプスが一望できるスキー場では、思うようにならないスキー板と格闘する姿や転んだ仲間を助け起こす姿がゲレンデのあちこちで見られました。

半数近くいた初心者も、ほとんど滑ることができるようになり、スキーの醍醐味を感じることができました。

◇中央中学校◇

半数近い初心者も滑れた

心の食べ物を

ふれあい園に指定されて三年目。ふれあいは昔も今も変らぬ自然体がいいと思います。思いやり、やさしさ、いたわり、肌のふれあいなどといった、心の食べ物を子供にいっぱい与え、大きな耳で子供の気持を、聞くことに努力しています。やりとりの中で特に言葉を大切にしていきたいと考えております。言葉一つでうれしくなったり、悲しくなったりしてしまいます。気をつけたいものです。将来立場が変わって、この子らが大人になった時、地域のみなさんに、やさしい言葉がかけられることでしょう。

◇鵜沼西保育所◇

三世代ふれあいカルタ会

三世代ふれ合い「ぞうり作り」

本園には『まごまごサークル』という祖父母の会があります。子ども達にとってお年寄りとふれ合うことは優しい環境としてとても幸せなことです。二月にそのおばあさん達から百組の親子がぞうり作りを教えて頂きました。年長さんの中には一人で作ってしまう子もいてびっくり、ビニール紐で作るとカラフルで今風でスリッパ代わりにもなります。

母親がおばあさんから手とり足とり教えてもらう姿を傍らでじっと見つめる子どもの目。まさに三世代交流の素敵なひと時でした。

◇子苑第二幼稚園◇

「ぞうり作り」親子百組が習う

山での挨拶

合歓の木南幼稚園では、園児達ができるだけ様々な体験ができるようにと願い、各務原の豊かな自然の中で活動することを大事にしています。

初冬の十二月、年長児達は不動の森へ出掛けました。バスは麓で降りおよそ一時間余りの山道を汗だくで登りました。歩くことに馴れない子ども達は「疲れた、歩けん」と言いつつも頑張りました。嬉しかったことは山道で市民の方々に出会うと、「おはよう、こんにちは」の挨拶がごく自然に出来たこと。山登りは人との出会いも心和ませてくれるのですね。

◇合歓の木南幼稚園◇

豊かな自然を体験

ベイジーとふれあい

◇各務原東高校◇

〝文化祭〟ボランティア村開設

福祉協力校となった本校では、福祉ボランティア委員会を結成し、夏休みを利用して福祉の里やつつじ苑を訪問しました。また、文化祭では福祉ボランティア村と題して点字・手話の掲示や車椅子の体験コーナーを開催しました。一番のメインは視覚障害者である亀山さんと盲導犬ベイジーを招待し、ふれあいコーナーを企画したことです。障害を持つ人やお年寄りがいることがごく自然である社会にしたいと再認識しました。密かに作り上げた点字版の案内を亀山さんに渡し、その場で読んでくださったときには涙が止まりませんでした。

福祉作文の表彰者

社協鵜二連合支部

平成9年10月25日(土)
於：各務原区コミセン

中央小・鵜二小、中央中合計37人のよい子が表彰されました。作品は時節を反映して、①家族のこと9人、②福祉と美しい町それぞれ7人、その他動物などでした。

元気で明るい受賞のみなさん

1年
かとうひろゆき
きづくりさおり
しもさかりほ
つちやゆい
なかむらこうよう

2年
さかやすたか
さとうひろひと
たねめぐみ
ふくながじゅん
みやの上つかさ
むこう川あゆ子

3年
鈴木まさ子
谷口瑠望
津崎愛加美や
野田真由
よこ田なお

4年
石原里奈
榎本祐子
沼まり恵
林紀愛代
渡辺幸

5年
井上沙紀
日下部敬太
種ゆかり
林正樹
松尾周作
三浦正和

6年
里郎か郎隆昭章
緒知や太英裕
佳一さ龍
田家山田田
上面片冨田口
藤田英昭
水口裕章

中央中1年
磯野めぐみ
熊沢知子
櫻井沙幸

社協鵜二連合支部　平成9年度決算書

●収入の部　（単位：円）

	科目	9年度決算	9年度予算	備考（決算内容）
1	交付金	581,000	570,000	支部会費 1,451,600×40%
2	メニュー事業助成金	285,575	275,000	鵜二だより 217,875 独居・高齢者等囲む会他
3	雑収入	42,218	10,000	寄付金3件・利息
4	繰越金	508,075	508,075	
	合計	1,416,868	1,363,075	

●支出の部　（単位：円）

	科目	9年度決算	9年度予算	備考（決算内容）
1	事務費	20,377	25,000	事務消耗用品、コピー代、写真代
2	共通実施事業費	(295,507)	(295,000)	
	1)福祉教育	40,000	55,000	講師謝礼、福祉作文表彰
	2)友愛訪問	95,494	70,000	ひとり、ねたきり老人等訪問
	3)支部育成	160,013	170,000	総会(2)、役員研修、事務局会
3	メニュー事業費	(444,115)	(491,500)	
	1)ひとりぐらし老人等囲む会	186,310	170,000	対象者 41人、総数 131人参加
	2)親子ふれあい映画会	34,335	31,500	小学生と保護者など
	3)福祉座談会	5,600	30,000	講演会2回(座談会含む)
	4)支部だより	217,870	260,000	鵜二だより16号・17号
4	その他の事業費	(190,330)	(203,000)	
	1)啓発関連	16,000	16,000	青少年育成助成金(鵜二・中央)
	2)ふれあい	77,000	77,000	体振会、鵜二・中央市民運動会
	3)生きがいづくり	40,000	40,000	鵜二連合クロッケゴルフ助成金
	4)生活環境・近隣ケア	41,330	55,000	介護講習会、近隣ケア研修
	5)雑費	16,000	15,000	コミセン使用料他
5	予備費（繰越金）	466,539	348,575	10年度への繰越金466,539円
	合計	1,416,868	1,363,075	

社会福祉協議会鵜二連合支部の皆様の日頃のご活動、本当にごくろうさまです。先進国としての資格のひとつに、あるいはヒューマンなすぐれた都市自治体には、広い「福祉の心」と、厚い「ボランタリーの層」がなければなりません。

戦後半世紀余りが過ぎた今日、私たちの社会には、この福祉の心とボランタリーの層が広がり出しました。そのひとつひとつに私は心からの共感と感動を覚えます。

「ヒューマン都市へ」

各務原市長　**森　真**

ねたきり老人・独居老人への声かけ運動、在宅介護者への支援、ボランティアの発掘、福祉教育の推進運動、三世代ふれあい事業など、そのすべてが素晴らしいことです。

また、市社会福祉協議会へは寄付金などがたびたび寄せられます。園児や小・中・高校生からもあります。私は出来る限り彼らにお会いし、感謝いっぱいでこの素晴らしい善意をいただいています。

一方、市内でも中学生の登校拒否とか暴力的事件が散見されます。当市の学校は他の大都市にくらべしっかりしていて、これらは全体からみればわずかではありますが、それでもやはり心配です。

それらの多くの原因は、大人の弱さ、子供のしつけの放棄、あるいは家庭の崩壊にあります。学校と家庭と地域が三位一体で健全な青少年を育む環境をつくることが今必要です。

今後とも、誰もが「住んで良かった各務原市」実現のため、支部社協の皆様のお力添えを賜りますようお願い申しあげます。

講演

21福祉のまちづくり話し合い

●講師　社会福祉士　**清水吉次郎先生**

11月8日
参加 51人

清水講師を囲んでザックバランな話し合い（於：各務原区コミセン）

会の始めに、つい先日亡くなられた各務原町の伊藤さんに黙とうを捧げました。二十余年にわたり民生委員を務められた間には、様々なご相談があったことでしょうし、ご苦労をお察しするとなお一層偲ばれます。お招きした清水先生もその長い経験の中に、民生委員を経てこられたとのこと、お話の内容も、明日は自分もという身近な課題や、問題点が多く参考になります。平成十二年から開始される介護保険法についても、準備期間の今、ぜひ関心を持って勉強してくださいと訴えておられました。介護の話の余談で、もし奥さんが倒れたとするとご主人は今まで苦労をかけたのだからと、やさしく気長に看病されるそうですが、ご主人が床につくと奥さんは、今まで家庭を返り見なかった夫に対して仕返しをするのだそうです。苦笑いのお父さんたちの顔……。高齢社会の今、行政や、まわりの受け皿も増えています。それを私たちがどんどん利用することで、なお向上し、ほんとうに頼りになる街が生まれるのだと思います。鵜二支部社協が目指されている「福祉のまちづくり」も弱い方々だけのものではないと思います。ここに住むみんなが安心できる生活環境をつくることも大切でしょう。

中学生の時でしたか、先生が「愛」について話してくださったことがありました。「愛とは相手の立場になって考えること……」と。お話を聞きながら思い出していました。清水先生は、マザーテレサの言言の一つを取り上げられました。「人は誰からも必要とされないと感じた時が一番不幸」と。

今回も経験豊かな先生のご講話で勉強させていただきました。

ぼらんてぃあ くらぶ
寺澤ケイ

平成9年度　社協鵜二連合（川崎・三ツ池・各務原）支部活動実績表

月	活動の内容
9年4月	15日(火)　事務局会議(計画・予算・組織) 6人 25日(金)　支部総会・理事会(計画・予算) 42人
5月	15日(木)　(市)各支部長・福祉推進員合同会議 26日(月)　事務局会議 6人 30日(金)　鵜二連合　近隣ケア研修と座談会76人
6月	7日(金)　「福祉と教育」講演と話し合い 66人 講師：各務原養護学校長 渡辺　澄子先生
7月	11日(金)　事務局会議　事業推進 6人 15日(火)　鵜二だより「16号」発行 25日(金)　親子ふれあい映画 がんばれまあちゃん 60人 ・社協会員募集活動　各区自治会役員・社協支部役員
8月	・社協会員募集活動　各区自治会役員・社協支部役員 5日(火)　介護講習会：近隣ケア等 60人 17日(日)　中央・鵜二子供フェスティバル協賛 ・各務原、三ツ池、川崎盆おどり協賛
9月	15日(日)　中央小校区市民運動会協賛
10月	10日(金)　事務局会議・支部フェスタ対策他 6人 19日(日)　鵜二小校区市民運動会協賛
10月	25日(土)　(鵜二連合支部フェスティバル)ひとり暮らしのお年寄り等を囲む会 対象者、ひとり暮らしのお年寄り(18人) 高齢者夫婦(23人) 〔催しもの〕歌のプレゼント、鵜沼西保育所園児7人、小中学生福祉作文の代表朗読と表彰37人 各務原東高校吹奏楽団演奏 16人 〔食事をしながら懇親〕お年寄りと役員など　合計131人参加
11月	8日(土)　'21福祉のまちづくり 講演と話し合い 51人 講師：元大垣市社協常務理事 社会福祉士　清水吉次郎先生
12月	29日(月)　事務局会議 6人 支部活動計画の推進と今後の日程
10年1月	21日(水)　鵜二だより「17号」の編集委員会 6人
2月	6日(金)　特養老人ホーム「ほづみ園」理事研修 12人 14日(土)　事務局会議「活動のまとめ、決算」 20日(金)　友愛訪問　寝たきり老人 20人、ひとり暮らし老人 51人、重度障害者 3人、計74人 24日(火)　鵜二だより「17号」編集委員会 6人
3月	10日(火)　会計中間決算監査 監事 2人、役員 6人 12日(木)　理事会 24人、支部総会 71人 31日(火)　鵜二だより「17号」発行

鵜二支部活動は、昭和57年に社協法人化以来ぼつぼつ内容の充実を図ってきました。そして、いま定着した主な事業は、年2回の講演と直後の座談会、支部フェスタと位置付けた、ひとり暮らしのお年寄と高齢夫婦等を囲む会、鵜二だより年2回の発行、友愛訪問、介護講習会等です。そして今年は最初の近隣ケア研修会も開催しました。

編集後記（三つのお詫）

前回の16号で、（写真）子苑第二幼稚園の表示は、鵜沼西保育所の誤りでした。この鵜二だより17号編集中に、紙面がB4からA4サイズに変り、編集の不備をお許し下さい。